

2023年度

総合型選抜Ⅴ期(追加)

総合型選抜(追加)

入学試験要項

※入試特待生制度の対象入試とはなりません。

※パイロットコースは募集しません。

千葉科学大学

CHIBA INSTITUTE OF SCIENCE

新型コロナウイルスに関する受験上の注意

新型コロナウイルス感染症等の影響により、本冊子発行後に記載内容（日程・選抜方法など）を変更する場合があります。変更となる場合は本学ホームページ上でお知らせします。出願・受験を予定している方は、本冊子の他に本学ホームページも随時ご確認ください。不明点などがある場合は以下の入試広報部までご連絡ください。

連絡先：千葉科学大学 入試広報部 〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3番
TEL = 0120-919-126（受験生ホットライン） e-mail = koho@cis.ac.jp

◆ **新型コロナウイルスに関する受験上の注意** ◆
出願後に新型コロナウイルスに罹患を理由として当初予定した総合型選抜試験を受験できない場合は、入試日までに入試広報部までお問い合わせください。

建学の理念・教育研究上の目的

◆◆ 建学の理念 ◆◆

ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し、技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する。

◆◆ 教育研究上の目的 ◆◆

〈薬学部〉

薬学部は、建学の理念を踏まえ、地域と連携しながら変動する社会的・医療的要請に対応することで、公衆衛生の向上及び増進による生活の質を確保でき、さらに危機管理能力を有する薬の専門家の育成を目的とする。

〈危機管理学部〉

危機管理学部は、危機管理の素養を身に付け、安全で安心な社会を構築する知識と技能を修得し、健康で平和な社会を実現できる基礎的能力を持った人材の養成を目的とする。

〈看護学部〉

看護学部は安全・安心な健康生活の確保に向けて、豊かな人間性と高い倫理観、高い専門性と自律性を有し、看護の立場から見た危機管理の素養を身に付け、看護を創造し、看護実践の改革に寄与していける基礎的能力を持った人材の育成を目的とする。

障がい等のある方への受験上及び入学後の修学上の配慮

病気・負傷や障がい等のために受験上及び入学後の修学上の配慮を希望する場合は、以下の手順で事前に相談してください。なお、希望する受験上の配慮の内容により、受験する試験会場を指定する場合があります。

- (1) 障がい等があり、受験上の配慮及び入学後の修学において配慮を希望する場合
 - ① 出願前のできるだけ早い時期に入試広報部に連絡し、相談してください。連絡が遅い場合、対応できない場合があります。
 - ② 事前相談では、試験当日の受験上の配慮だけではなく、希望する学科と（必要に応じて健康衛生課等関係部署を含む）入学後の修学、生活環境に支障がないか相談を行います。
 - ③ 相談時には、ア)受験上及び修学上の配慮等申請書(<https://www.cis.ac.jp/examinfo/index.html>よりダウンロード)、イ)健康診断書(病院様式で可)、ウ)障害者手帳又は療育手帳の写し等を提出していただく場合があります。
 - ④ 事前相談後、本学から試験当日及び入学後の修学上の配慮等の対応について連絡をします。
- (2) 急な事故、疾病等により受験上及び入学後の修学上の配慮を希望する場合は、すみやかに入試広報部に相談してください。

問い合わせ・送付先：千葉科学大学 入試広報部 〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3番
TEL = 0120-919-126 (受験生ホットライン) e-mail = koho@cis.ac.jp

3つのポリシー

薬学部 薬学科

【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）AP】

千葉科学大学薬学部が育成する人材

千葉科学大学薬学部では、「一人ひとりの能力を最大限に引き出す」という学園建学の理念に基づき、絶えず変動する社会の要請に対応することが可能な高い専門性と倫理観や使命感、そして危機管理能力によって、地域をはじめ広く社会に貢献する薬の専門家を育成します。

期待する入学者像

千葉科学大学薬学部では、以下の項目の能力を有する人の入学を求めます。

1. 本学の建学の理念と、本学部の教育研究上の目的に共感を覚え、薬学を修めたいという意欲のある人
2. 知的好奇心が旺盛で、特に自然科学や生命科学に対し広く興味・関心を示し、その原理を理解するための基本的能力を有する人
3. 日本語、及び英語の基本的な読解力、得られた情報や知識の要点を他者に的確に伝える能力、及びそれらの能力を活用することで、他者との良好な関係構築に努めることができる人
4. 様々な困難に遭遇しても、それらを克服することで学業を成就させ、薬学の専門知識を以て社会の福祉向上に貢献したいという意欲がある人

入学者選抜の方法と趣旨

千葉科学大学薬学部では、多様な人材を広く受け入れるために、複数の選抜制度を採用し、筆記試験のみならず、面接や小論文、調査書の内容などによって総合的に入学希望者の能力や資質を評価します。一般選抜では本学が独自に行う筆記試験、もしくは大学入学共通テストの成績により入学後に必要な自然科学の知識や基本的な考え方、読解力や理解力が身についているかを評価します。総合型選抜と学校推薦型選抜では、面接試験や志望理由書、課題小論文の審査により、自然科学の基本的な素養に加えて、本学の理念や教育目標への共感や継続的な学習意欲、薬の専門家として社会に貢献したいという熱意を重視したうえで評価します。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）CP】

千葉科学大学薬学部では、カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）に掲げる薬学を修めた者の職分としての能力を効果的に修得するために以下のような方針でカリキュラムを編成する。

1. 薬学を修める者の職分としての基本的教養を身につけるために、人文・社会科学、自然科学、外国語等の一般基礎科目を設定している。さらに、社会薬学科目を通して医療人としての資質を醸成できる教育プログラムを実施する。これら設定された科目及びプログラムは、筆記試験だけでなく能動的学習による成果発表やプロダクト等により評価する。
2. 医療に携わる者としての倫理や使命感を身につけるために、それらの基本的な内容を理解する科目、医療を取り巻く社会環境を理解するための科目、及びそれら習得した知識や倫理観等に基づいた患者本位の医療を理解するための科目を設定し、主に筆記試験やレポートで評価する。さらに、患者本位の医療を実際に提案する力を身に付けるために、病院・薬局実務実習や実務実習後に開講される薬学臨床事後実習において、患者本位の医療提案を実践し、またロールプレイや PBL に基づく議論のピアレビュー等により評価する。
3. 地域に貢献できる薬の専門家の役割を理解するために、「医療専門職連携導入」や「早期体験学習・銚子学」を設置し、主にレポートで評価する。また、他者との円滑な意思疎通と信頼関係を構築する基本的能力を身につけるために、基礎的なコミュニケーション能力の涵養を目的とした「コミュニケーション」、「ヒューマニズムⅠ・Ⅱ」等の科目と、より医療現場に則した「医療コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「事前実務実習」等の科目を配置し、SGD やロールプレイを取り入れた講義や実習を行い、プレゼンテーションやレポートで評価する。さらに、「病院実務実習」、「薬局実務実習」において、患者や医療従事者とのコミュニケーションを実践し、ポートフォリオやレポートを中心に評価する。

4. 福祉向上を支援する力を身につけるために、人に対して効果を有する化学物質の基本的な知識を修得できる薬学専門科目に加えて、医薬部外品および化粧品の知識を学修できる「化粧品概論」、「化粧品学Ⅰ・Ⅱ」等の科目を設定し、主に筆記試験やレポートで評価する。さらに、セルフケアを提案する能力を育成するための実習や演習等の能動的学習方法を取り入れ、主にプレゼンテーションやレポートにより評価する。
5. 高度な薬学の知識を身につけるために、基礎薬学、衛生・社会薬学、医療薬学をそれぞれ体系的に学修できるプログラムを設定し、主に筆記試験やレポートで評価する。さらに、薬学の知識を醸成するために、「基礎薬学演習」、「総合薬学演習」等の総合科目を設定している。
6. 問題解決に必要な科学的思考や技能を身につけるために、薬学専門科目に加え、それらに関連する専門実習を編成し、主に筆記試験やレポートで評価する。さらに、課題抽出や解決策を模索する力を養うために、修得した専門知識及び技能を総合的に活用し、「臨床病態解析学演習」、「病院実務実習」、「薬局実務実習」、「卒業研究」等を配置し、主にプレゼンテーションや論文で評価する。
7. 知識と技術の鍛錬および人材の育成を行う意欲と行動力を身につけるために、課題発表を取り入れた「薬学入門」、「実務実習事後演習」や長期間にわたって学習する「卒業研究」等のプログラムを設定し、主にプレゼンテーションやレポートで評価する。
8. クライシスマネジメント能力を活用した多職種連携をする力を身につけるために、基本的なリスクマネジメント及びクライシスマネジメントの知識を修得できる教育プログラムを設定し、主に筆記試験で評価する。さらに、これら修得した知識を活用するための能動的学習を積極的に取り入れた科目を設定し、ロールプレイやレポート等を中心に評価する。

【カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）DP】

千葉科学大学薬学部では、薬学を修めた者の職分として以下の能力を身につけ、且つ所定の単位を修得した者に対して学士（薬学）の学位を授与する。

DP1. 最適な医療の提案

科学的な思考、及び医療に携わる者としての倫理と使命感を背景とする薬学的知見に加え、医療政策や医療経済に配慮することで、少子高齢化や技術革新等の社会の変化に対応し、患者本位の医療を提案する。

DP2. 地域との連携と貢献

地域に貢献できる薬の専門家の役割を理解し、患者・生活者とそれらを支える専門職との円滑な意思疎通と信頼関係を構築する基本的能力を有する。

DP3. 福祉向上のための支援

人に対して効果を有する化学物質（医薬品、医薬部外品及び化粧品等）の性質並びに法規制を考慮し、人々の福祉のためのセルフケアを提案する。

DP4. 高度な専門知識の修得

広く自然科学の知識を備え、高度な薬学の知識を体系的に身につける。

DP5. 知の探求

薬学における最新の知見を通じて課題を自ら見出し、科学的思考に基づいた解決策を模索する。

DP6. 鍛錬と継承

社会に貢献できるように、生涯にわたり知識と技術を磨き、次世代を担う人材を育成する意欲と行動力を有する。

DP7. クライシスマネジメント 危機管理能力の活用

薬学的知見を背景としたクライシスマネジメント能力に基づき、多職種と連携しながら多様な状況に対応する。

カリキュラム・ポリシーに添付の別表については、大学ホームページを参照

危機管理学部

【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）AP】

入学者選抜

本学部は、危機管理の素養を身に付け、それぞれの専門分野における知識と技能を修得し、安全・安心な社会の構築に寄与する意欲的な人材を養成することを目指しています。この目的を達成するために、必要な専門知識、技能を身につけ、それぞれの専門分野に関わる業務に従事したい人を求めます。留学生ではこれらに加えて勉学に必要な日本語能力を身につけている人を受入れます。

本学部では、入学志願者の基礎的知識を評価するための一般選抜入学試験、意欲や表現力、コミュニケーション能力等の適性を多面的に判定するための総合型選抜入学試験等、複数の選抜制度を設けています。

●求める人物像

下記の項目のいずれか複数の項目を満たす人を求めます。

1. それぞれの専門分野において安全・安心な社会の構築に寄与したいという意欲のある者
2. 自然科学分野の基礎的知識を備えている者
3. 人文・社会科学分野の基礎的知識を備えている者
4. コミュニケーション能力を有する者

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）CP】

危機管理の素養を身につけ、それぞれの専門分野に関する専門知識と技能を有し、安全・安心な社会の構築に貢献する人材養成を目的として、教育課程編成、当該教育課程における学修方法・学修課程、学修成果の評価の在り方について示します。

教育課程は一般基礎科目と専門教育科目から構成されており、一般基礎科目は人文・社会科学、外国語、保健体育等からなり、専門教育科目は学部基礎科目、学科基礎科目、学科専門科目、専門実習科目及びこれらの集大成となる卒業研究を主とする総合科目を年次進行で編成し実施します。

初年次教育では、それぞれの専門分野の基礎知識を学科基礎科目として修得し、更に「危機管理学入門」等の学部共通科目及び学科基礎科目により危機管理及び専門分野における基礎的な知識・技能が修得できるように設定されています。2年次から3年次にかけては、学科基礎科目に加えて、学科専門科目においてアクティブラーニング、SGD(Small Group Discussion)により、それぞれの専門分野に関する専門的知識・技能が効果的に修得できるように設定されています。3年次より研究室に所属し、リスク・危機管理に携わる者として必要なコミュニケーションスキル、研究手法等を学び、4年次に「卒業研究」をとおして総合的な問題解決能力が身につくように設定されています。

また、教育課程を通じて、キャリア科目において、それぞれの専門分野に関わる現場の見学や実務実習により、それぞれの専門分野において社会に貢献する態度を身につけ、将来の進路選択に活かせるように設定されています。

「卒業研究」は学科で求める知識・技能・態度・思考力についての総合的な評価科目として、教育課程の集大成と位置付けられています。

【カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）DP】

危機管理学部では、危機管理の素養を身に付け、それぞれの専門分野における知識と技能を修得し、安全・安心な社会の構築に寄与する態度や思考力を身につけた者に学士（危機管理）の学位が授与されます。

知識

それぞれの専門分野に必要な人文・社会科学の基礎的教養又は自然科学の基礎的な知識と応用力
危機管理に重要なリスク・危機管理の知識、健康で平和な社会、安全で安心な社会を構築するために必要な知識

技能

客観的なデータに基づき、さまざまな場面において PDCA(plan-do-check-act)などの手法を用いて危機管理に対応することができる実践的な技能

態度

それぞれの専門分野に携わる者として必要なコミュニケーション能力を有し、それぞれの専門分野において社会に貢献する態度

思考力

それぞれの専門分野に関わる問題に対して論理的・実践的な解決策を考案する能力

危機管理学科

【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）AP】

入学者選抜

本学科は、リスク・危機管理に関わる知識を学び、安全・安心な社会の構築に寄与する意欲的な人材を養成することを目指しています。この目的を達成するために、将来企業や政府機関・自治体などにおいてリスク・危機管理に関連する業務に従事したい、または消防官、警察官、自衛官などとして地域の安心・安全、国の安全を守りたい人を求めます。留学生ではこれらに加えて勉学に必要な日本語能力を身につけている人を受入れます。

本学科では、入学志願者の基礎的知識を評価するための一般選抜入学試験、意欲や表現力、コミュニケーション能力等の適性を多面的に判定するための総合型選抜入学試験等、複数の選抜制度を設けています。

●求める人物像

下記の項目のいずれか複数の項目を満たす人を求めます。

1. リスク・危機管理に関する知識と技術を学び、安全・安心な社会の構築に寄与したいという意欲のある者
2. 人文・社会科学分野の基礎的知識を備えている者
3. 自然科学分野の基礎的知識を備えている者
4. コミュニケーション能力を有する者

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）CP】

危機管理の素養を身につけ、リスク・危機管理に関する専門知識を有し、安全・安心な社会の構築に貢献する人材養成を目的として、教育課程編成、当該教育課程における学修方法・学修課程、学修成果の評価の在り方について示します。

初年次教育では人文・社会科学系の基礎知識を学科基礎科目として修得し、更に「危機管理学入門」等の学部共通科目及び「安全保障学入門」、「警察学概論」、「消防学概論」等の学科基礎科目により危機管理及び専門分野における基礎的な知識・技能が修得できるように設定されています。2年次から3年次にかけては、「リスク・コミュニケーション」、「リスク認知論」等の学科基礎科目に加えて、「安全保障概論」、「地球環境保全概論」等の専門科目において、SGD(Small Group Discussion)や演習などによりアクティブラーニングを実践し、リスク・危機管理に関する専門的知識・技能が効果的に修得できるように設定されています。3年次より研究室に所属し、リスク・危機管理に携わる者として必要なコミュニケーションスキル、研究手法等を学び、4年次に「卒業研究」をとおして総合的な問題解決能力が身につくように設定されています。

また、教育課程を通じて「キャリアデザイン」、「教養ゼミナール」、「就業力育成特論」等のキャリア科目において、社会のリスク・危機管理に関わる現場の見学や演習により、使命感や倫理観を有し社会に貢献する態度を身につけ、将来の進路選択に活かせるように設定されています。

「卒業研究」は学科で求める知識・技能・態度・思考力についての総合的な評価科目として、教育課程の集大成と位置付けられています。

【カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）DP】

危機管理学科では、リスク・危機管理に関わる知識を学び、安全・安心な社会の構築に寄与する態度や思考力を身につけた者に学士（危機管理）の学位が授与されます。

知識

リスク・危機管理の基礎となる人文・社会科学の基礎的な知識と応用力

下記のいずれかの専門的な知識を身につけている。

- ・企業や自治体などのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる知識
- ・消防や地域防災などのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる知識
- ・地域治安の維持や犯罪捜査などのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる知識
- ・国家安全保障や平和維持活動などのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる知識
- ・自然環境やSDGsなどのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる知識

技能

客観的なデータに基づき、さまざまな場面において PDCA(plan-do-check-act)などの手法を用いて危機管理のシステムを開発できる実践的な技能

態度

リスク・危機管理に携わる者として必要なコミュニケーション能力、使命感や倫理観を有し、社会に貢献する態度

思考力

問題に対して論理的・実践的な解決策を考案する能力

保健医療学科

【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）AP】

入学者選抜

本学科は、保健医療分野（臨床検査学・臨床工学・救急救命学）に関する専門知識と技能を有し、チーム医療を通して安全・安心な社会の構築に寄与する意欲的な人材を養成することを目指しています。この目的を達成するために、人の健康と生命を守るための知識と技能を身につけ、保健医療分野の業務に従事したい人を求めます。留学生ではこれらに加えて勉学に必要な日本語能力を身につけている人を受入れます。

本学科では、入学志願者の基礎的知識を評価するための一般選抜入学試験、意欲や表現力、コミュニケーション能力等の適性を多面的に判定するための総合型選抜入学試験等、複数の選抜制度を設けています。

●求める人物像

下記の項目のいずれか複数の項目を満たす人を求めます。

1. 保健医療分野（臨床検査学・臨床工学・救急救命学）に関する専門知識と技能を身につけ、チーム医療を通して安全・安心な社会の構築に寄与したいという意欲のある者
2. 自然科学分野の基礎的知識を備えている者
3. 人文・社会科学分野の基礎的知識を備えている者
4. コミュニケーション能力を有する者

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）CP】

危機管理と医療技術の素養を身につけ、保健医療分野（臨床検査学・臨床工学・救急救命学）に関する専門知識と技能を有し、チーム医療を通して安全・安心な社会の構築に貢献する人材養成を目的として、教育課程編成、当該教育課程における学修方法・学修課程、学修成果の評価の在り方について示します。

初年次教育では自然科学系の基礎知識を学科基礎科目として修得し、更に「危機管理学入門」等の学部共通科目及び「医学概論・公衆衛生学」等の学科基礎医学科目により危機管理及び専門分野における基礎的な知識・技能が修得できるように設定されています。「病理学」、「微生物学」等の学科基礎医学科目に加えて、コース別専門科目（臨床検査学・臨床工学・救急救命学コース）において、SGD(Small Group Discussion)や演習、実習などによりアクティブラーニングを実践し、保健医療分野に関する専門的知識・技能が効果的に修得できるように設定されています。3年次より研究室に所属し、医療人・社会人として必要なコミュニケーションスキル、研究手法等を学び、4年次に卒業研究をとおして総合的な問題解決能力が身につくように設定されています。

また、教育課程を通じて「キャリアデザイン」、「教養ゼミナール」、「臨床検査臨地実習」、「臨床工学臨床実習」、「病院内実習」等のキャリア科目において、人の健康と生命を守る医療現場の見学や実務実習により、チーム医療に貢献する態度を身につけ、将来の進路選択に活かせるように設定されています。

「卒業研究」は学科で求める知識・技能・態度・思考力についての総合的な評価科目として、教育課程の集大成と位置付けられています。

【カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）DP】

保健医療学科では、人の健康と生命を守るための知識と技術を学び、安全・安心な社会の構築に寄与する態度や思考力を身につけた者に学士（危機管理）の学位が授与されます。

知識

自然科学の基礎的な知識と応用力

保健医療分野（臨床検査学・臨床工学・救急救命学）における専門知識

技能

保健医療分野（臨床検査学・臨床工学・救急救命学）の専門知識に基づく医療技術

態度

医療人・社会人として必要なコミュニケーション能力を有し、チーム医療に貢献する態度

思考力

問題に対して論理的・実践的な解決策を考案する能力

航空技術危機管理学科

【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）AP】

入学者選抜

本学科は、航空機の運航・整備に関する知識と技術、ドローンの設計・操縦に関する知識と技術を学び、安全・安心な社会の構築に寄与できる人材を養成することを目指します。それらの目的を達成するために必要な知識・技能を身に付け、航空機の運航・整備、ドローンの設計・操縦に関する分野の業務への従事を志望する者を求めます。また、留学生においてはそれらに加えて履修上必要な日本語能力を身につけている者を受入れます。

本学科では、入学志願者の基礎的知識を評価するための一般選抜入学試験、意欲や表現力、コミュニケーション能力等の適性を多面的に判定するための総合型選抜入学試験等、複数の選抜制度を設けています。

●求める人物像 下記の項目のいずれか複数の項目を満たす者を求めます。

1. 航空機の運航・整備に関する専門知識と技能を身に付け、安全・安心な社会の構築に寄与したいという意欲のある者
さらにパイロットコースを志望する者においては、英会話能力及び操縦適性を有する者
2. ドローンの設計・操縦に関する専門知識と技能を身に付け、安全・安心な社会の構築に寄与したいという意欲のある者
3. 自然科学分野の基礎的知識を備えている者
4. 人文・社会科学分野の基礎的知識を備えている者
5. コミュニケーション能力を有する者

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）CP】

危機管理の素養を身につけ、航空機の運航・整備に関する知識と技能、ドローンの設計・操縦に関する知識と技能を学び、安全・安心な社会の構築に貢献できる人材養成を目的として、教育課程編成及び当該教育課程における学修方法・学修課程、学修成果の評価の在り方について示します。

初年次教育においては、ものづくりや機械の取扱いに関する基礎知識および技能を「航空技術危機管理概論」「航空技術危機管理基礎」「想像ものづくり実験」等の学科基礎科目として修得し、「危機管理学入門」等の学科共通科目により危機管理の基礎的な知識が修得できるように設定されています。

専門科目においては1年次から3年次にかけてSGD(Small Group Discussion)や演習、実習などによりアクティブラーニングを実践し、「実務英会話」「航空英語」等のコミュニケーションを円滑に進めるための英語力に関わる科目、「無線工学」「無線通信」等の航空機の運航にかかわる科目、「流体力学及び演習」等の力学に関わる科目、「材料学」「CAD 演習基礎・応用」等のものづくりに関わる科目、「航空マネジメント概論」「航空業務概論」等の航空機の運航管理に関わる科目、などにより、航空従事者としての基礎知識及び技能を修得できるように設定されています。ドローンについては、「ドローン工学論」において工学的な基礎知識を習得し、「ドローン製作実習」「ドローン操縦実習」にて設計及び操縦についての知識と技術を修得するように設定されています。さらに、3年次には「航空技術ゼミナール」を配置し、航空機の運航・整備に携わる航空従事者として必要なコミュニケーションスキル、研究手法等を学び、4年次に「卒業研究」を通して総合的な問題解決能力が身につくように設定されています。

また、「キャリアデザイン」、「教養ゼミナール」、「航空技術ゼミナール」等のキャリア科目を通して、航空機の運航・整備、ドローンの設計・操縦に携わる技術者として必要な使命感や倫理観を有し、社会に貢献する態度を身につけ、将来の進路選択に活かせるように設定しています。

「卒業研究」は学科で求める知識・技能・態度・思考力についての総合的な評価科目として、教育課程の集大成と位置付けられています。

【カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）DP】

航空技術危機管理学科では、航空機の運航・整備に関する知識と技術、ドローンの設計・操縦に関する知識と技術を学び、安全・安心な社会の構築に寄与する態度や思考力を身につけた者に学士（危機管理）の学位が授与されます。

知識

ものづくりや機械の取扱いに関する基礎的知識
航空機の運航・整備に関する専門的な知識
ドローンの設計・操縦に関する工学的専門知識

技能

ものづくりや機械の取扱いに関する技能
航空機の運航・整備に関する専門的な技能
ドローンの設計・操縦に関する工学的専門技能

態度

航空機の運航・整備、ドローンの設計・操縦に関する航空従事者として必要なコミュニケーション能力、使命感や倫理観を有し、社会に貢献する態度

思考力

問題に対して、論理的・実践的な解決策を考案する能力

動物危機管理学科

【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）AP】

入学者選抜

本学科は、動物生命科学、動物看護学、野生動物管理学、動物資源学、畜産学、水生動物学、又はアニマルビジネスの各分野における多様な動物を対象とした動物危機管理に関する専門知識と技能を有し、ヒトと動物が共存・共生できる安全・安心な社会の構築に寄与できる人材の養成を目指しています。この目的を達成させるために必要な知識・技能を身につけ、動物危機管理に関わる各分野の業務に従事したい人を求めています。留学生では、これらに加えて勉学に必要な日本語能力を身につけている人を受入れます。

本学科では、入学志願者の基礎的知識を評価するための一般選抜入学試験、意欲や表現力、コミュニケーション能力等の適性を多面的に判定するための総合型選抜入学試験等、複数の選抜制度を設けています。

●求める人物像

下記の項目のいずれか複数の項目を満たす人を求めます。

1. ヒトと動物が共存・共生できる安全・安心な社会の構築に寄与したいという意欲のある者
2. 自然科学の基礎的知識を備えている者
3. 人文・社会科学分野の基礎的知識を備えている者
4. コミュニケーション能力を有する者

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）CP】

多様な動物を対象とした動物危機管理に関する専門知識と技能を有し、ヒトと動物が共存・共生できる安全・安心な社会の構築に貢献する人材養成を目的として、教育課程編成、当該教育課程における学修方法・学修過程、学修成果の評価の在り方について示します。

初年次教育では自然科学系の基礎知識を学科基礎科目として修得し、更に「危機管理学入門」等の学部共通科目及び「動物危機管理入門」、「動物学」等により危機管理及び専門分野における基礎的な知識・技能が修得できるように設定されています。2年次から3年次にかけては、学科専門科目において、アクティブラーニング、SGD(Small Group Discussion)により、家庭動物（ペット等）、野生動物、実験動物、産業動物、水生動物等の多様な動物を対象とした動物危機管理に関する専門的知識・技能が効果的に修得できるように設定されています。3年次より研究室に所属し、動物危機管理に関する専門分野に携わる者として必要なコミュニケーションスキル、研究手法等を学び、4年次に「卒業研究」をとおして総合的な問題解決能力が身につくように設定されています。アニマルビジネスの分野では、動物危機管理学科の基礎および専攻科目により、動物危機管理に関する専門的知識・技能の修得に加え、起業および企業経営等のリスク・危機管理に関する専門的知識・技能も修得できるように設定されています。また、教育課程を通じて「キャリアデザイン」、「教養ゼミナール」、「動物危機管理実習」、「動物実務実習」等のキャリア科目において、ヒトと動物の共存・共生に関わる現場の見学や実習により、生命倫理と動物福祉に基づきヒトと動物の共存・共生できる社会の構築に貢献する態度を身につけ、将来の進路選択に活かせるように設定されています。「卒業研究」は学科で求める知識・技能・態度・思考力についての総合的な評価科目として、教育課程の集大成と位置付けられています。

【カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）DP】

動物危機管理学科では、多様な動物とヒトの接点に存在するリスクや危機に対するリスク評価・リスク管理・危機管理等を含む、動物危機管理に関する知識と技術を学び、安全・安心な社会の構築に寄与する態度や思考力を身につけた者に学士（危機管理）の学位が授与されます。

知識

自然科学の基礎的な知識と応用力

動物生命科学、動物看護学、野生動物管理学、動物資源学、畜産学、水生動物学、又はアニマルビジネスの各分野における多様な動物を対象とした動物危機管理に関する専門知識

技能

多様な動物を対象とした動物危機管理に関する専門知識に基づくヒトと動物の共存・共生を実現させるために必要な技能

態度

動物危機管理に関する専門分野に携わる者として必要なコミュニケーション能力を有し、生命倫理と動物福祉に基づきヒトと動物が共存・共生できる社会の構築に貢献する態度

思考力

問題に対して論理的・実践的な解決策を考案する能力

看護学部 看護学科

【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）AP】

入学者選抜

いのちを守る使命感を持ち、看護学に関する専門的な知識・技術・態度及び人々の権利を守る倫理観を身につけ、国民の安全・安心な健康生活に貢献できる看護実践者を養成します。

●求める人物像

下記の項目のいずれか複数の項目を満たす人を求めます。

1. 自分の健康管理ができる者
2. 看護職者として人を助けたいという意思を持つ者
3. 他者とコミュニケーションがとれ、良好な関係がとれる者
4. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、持続的に学ぶ意欲のある者
5. 社会及び大学のルールを守れる者

●入学者選抜の方法と趣旨

基礎的な学力を評価する一般選抜入学試験、基礎学力に加えて意欲やコミュニケーション能力等の適性を多面的に判定する総合型選抜試験等、複数の選抜制度を設けています。

●初年次における教育上の配慮

学修に必要なスキル、自己の安全を守るための危機管理能力を早期に身につけるための初年次教育を行います。

専門基礎科目の学修を効果的に進められるように、学生の学力に合わせた支援を行います。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）CP】

看護学科では、カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）に掲げた態度及び能力を修得するために以下の方針でカリキュラムを編成します。

1. 教育課程の構成と体系

構成は、一般基礎科目・専門基礎科目・専門科目の3区分のカリキュラムとしています。

一般基礎科目は、1年次からの履修とし、専門基礎科目・専門科目への導入が円滑に図れるようにしています。専門基礎科目は、1年次に人格形成の基盤となる科目を配置すると共に対象理解の基本となる人体のしくみや機能を学ぶ科目を配置し、2年次に社会生活における関連科目を配置して、全人的に対象を理解できるようにしています。専門科目は看護学の基盤になる基盤看護学科目を1年次から配置し、2年次より発達特性に応じた看護学、広域分野における看護学を配置しています。3年次は主として2年次までに学修した看護の知識と技術を用いて臨地で看護過程を展開し、対象者と信頼関係を構築する実習科目を配置しています。さらに3年次から4年次にかけては多様な対象、場面における看護学及び看護研究等の科目を配置し、学生が興味関心を広げ、看護を創造する能力を高められるようにしています。

2. 特徴ある科目の配置

対象となる人々の安全・安心な健康生活を守る危機管理能力の育成を図る科目として、一般基礎科目に「リスク危機管理論」を配置、専門基礎科目に「いのちと生活Ⅲ（生活と危機管理）」「いのちと生活Ⅳ（薬と危機管理）」「健康と社会のしくみⅢ（情報危機管理）」を配置、専門科目に「地域危機管理看護学実習」「危機管理看護学演習」「リスクマネジメント論」を配置しています。

地域特性を把握し健康との関連を学ぶため、大学が立地している銚子市の自然環境、社会環境、歴史、文化等を学ぶ「銚子学」「地域フィールドワーク実習」を配置しています。

3. 連携協働能力の育成を図る科目

他職種理解と連携の必要性を学ぶため、1年次に薬学部、危機管理学部の学生と合同で学ぶ「医療専門職連携導入」を配置しています。

【カリキュラム・ポリシー（学位授与方針）DP】

看護学科では、安全・安心な健康生活の実現に向けて、豊かな人間性と高い倫理観、高い専門性と自律性を有し、看護の立場から見た危機管理の素養を身に付け、看護を創造し、看護実践の改革に寄与していただける以下の基礎的能力を証するものとして学位を授与します。

1. 対象となる人々の尊厳と権利を擁護し、多様な価値観を尊重して援助的関係を形成する能力
2. 対象となる人を全人的に捉え、科学的根拠に基づいた看護実践能力
3. 人々の安全・安心な健康生活を守るための危機管理能力
4. 地域の特性を把握し、住民・当事者・保健医療福祉関係者と連携協働能力
5. 自律的に学習を継続し、生涯にわたり専門職として成長し続ける能力

2023年度 総合型選抜Ⅴ期（追加）・総合型選抜追加について

- 出願資格
- 募集人員
- 志望学科について
- 入試日程
- 出願書類の準備
- 時間割
- 選抜方法
- 試験会場
- 志望理由書・課題レポート
- 出願（書類・方法）
- 入学検定料

総合型選抜入学試験 V期（追加）・追加（ともに専願制）

総合型選抜Ⅰ～Ⅳ期の募集人員に対し、若干の余裕があるため追加日程を設定し、入試を実施します。

総合型選抜入試は、出願資格を満たす者が自らの意志で本学を第1志望とする公募制専願制入試です。本入試によって合格した場合は必ず本学に入学することが条件になります。本要項の3～10ページに記載されている各学部・学科の『求める人物像』や大学案内等を参考に志望する学科を選び、出願してください。

選抜方法は、書類審査と面接により志願者の能力、適性や意欲、目的意識等を総合的に評価し、可否を判定します。

◆ 注意 ◆

- 総合型選抜V期（追加）及び総合型選抜（追加）は特待生制度の対象とはなりません。
- 出願期間～合格発表のいずれかの日程が重なる他の専願制入学試験とは併願できません。
- 航空技術危機管理学科（パイロットコース以外）においては各コースごとの志願の受け付けとなります。

● 出願資格

本入試へ出願するには、次のいずれかに該当する必要があります。

- 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者。又は2023年3月までに卒業見込みの者。
- 2 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者。又は2023年3月までに修了見込みの者。
- 3 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある）。又は2023年3月までに修了見込みの者。
- 4 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある）。
- 5 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者。又は2023年3月までに修了見込みの者。
- 6 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程を修了する必要がある）。又は2023年3月までに修了見込みの者。
- 7 高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者。又は2023年3月までに修了見込みの者。
- 8 指定された専修学校の高等課程を修了した者。又は2023年3月までに修了見込みの者。
- 9 旧制学校等を修了した者。
- 10 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベルを保有する者。
- 11 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者。又は2023年3月までに修了見込みの者。
- 12 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者。又は2023年3月までに合格見込みの者。（なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる）。
- 13 大学において個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者。

● 募集人員

本入試の募集人員は次のとおりです。

学部名	学科名	入試区分	入学定員 ^{※1}	総合型選抜追加 ^{※1}
薬学部	薬学科		100名	若干名
危機管理学部	危機管理学科		120名	若干名
	保健医療学科		80名	若干名
	航空技術危機管理学科 ^{※2} ・パイロットコース ・航空工学・ドローンコース ・航空マネジメントコース		40名	若干名
	動物危機管理学科		60名	若干名
看護学部	看護学科		90名	若干名
全学部合計			490名	若干名

※1 上記の入学定員及び募集人員は変更することがあります。

※2 パイロットコースは募集しません。

● 志望学科について

本入試で志望できる学科（航空技術危機管理学科の場合はコース）はひとつのみです。大学案内等を参考に志望する学科を選択してください。

● 入試日程

本入試は次の日程で実施します。

◆入試日程（パイロットコースを除く）

区分	出願受付期間 (必着)	入試日	合否発表日	入学手続締切	試験地
V期（追加）	2月15日（水） ～2月24日（金）	3月7日（金）	3月16日（木）	3月24日（金）	Web
追加	3月1日（水） ～3月16日（木）	3月24日（金）	3月28日（火）	3月31日（金）	Web

● 出願書類の準備

本入試の出願には次の書類が必要です。願書受付開始までに計画的に用意してください。

提出書類	内 容
入学願書	巻末の様式を使用してください。 必要事項を黒のボールペン等（消えるボールペン・鉛筆は不可）で全て記入してください
顔写真	縦 4cm×横 3cm、上半身脱帽で出願の 3 ヶ月以内に撮影したものの入学願書に貼り付けが必要です。
調査書	出身高等学校等が作成し厳封したもの。 ※既卒生等の理由で調査書が発行できない場合は 入試広報部までご相談ください。
志望理由書	巻末の「様式 1」を使用してください。 詳細は 16 ページを参照してください。

外国籍の方	在留資格情報届出書	外国籍を有し、日本国の永住許可を得ていない方で看護学部を志望される方は提出が必要です。但し、「N1 合格証明書の写し」については日本の中学校及び高校を卒業した方（見込み含む）は不要です
	日本語能力試験 N1 合格証明書の写し	

- ※1 調査書について
- 1) 出願時点の最新成績のもの
 - 2) 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は「合格成績証明書」を提出してください。（見込者は「合格見込成績証明書」を提出してください）
 - 3) 既卒生で成績情報保存期間等により調査書が提出できない場合は「卒業証明書」提出してください（必ず出身校に発行の可否を確認してください）。
 - 4) 同時に複数の入試区分に出願する場合、調査書等は 1 通でかまいません。また、本学へ 2 回目以降の出願する場合は 調査書等を再度提出する必要はありません。

● 時間割

本入試は次の時間割で実施します。

Web 面接	
注意事項説明	9 時 30 分～
面接	10 時 00 分～

※実際の面接開始時刻は志願者ごとに異なります。各志願者の面接開始時刻は出願締切後に願書に記載したメールアドレス宛てにお知らせします。

※試験日の 2 日前までに受験票が届かない場合は、入試広報部までお問い合わせください。

● 選抜方法

本入試では次の方法で入学試験を行い、総合的に合否判定を行います。

◆薬学部・危機管理学部（パイロットコースを除く）・看護学部

書類審査〔調査書、志望理由書〕及び Web 面接（口頭試問）による総合評価

選抜方法
(1) Web 面接（口頭試問、調査書等含む） 150 点 (2) 志望理由書 50 点

● 試験会場

すべての学部学科では、インターネット接続によるオンライン形式で面接を実施します。実施方法に関する詳細は 19 ページを参照してください。

● 志望理由書

出願書類として提出が必要な「志望理由書」は、次の内容で作成してください。

種類	作成内容	文字数
志望理由書	あなたが学科を志望するに至った経緯や理由（なぜ他大学ではなく千葉科学大学なのか、なぜ〇〇学科なのか、など）について述べるとともに、その理由を踏まえた大学生活における目標設定について記入してください。	400 字以内

作成上の注意事項

- (1) 巻末の様式 1 を使用してください。
- (2) 必ず自筆で作成してください。黒のボールペン等（消えるボールペン・鉛筆は不可）で、丁寧に記入してください。パソコン等による印字は認めません。
- (3) 必ず氏名・志望学科を記入してください。
- (4) 著しい記入様式の不備・誤字・脱字は減点の対象とします。

● 入学検定料

郵送で出願する場合は 35,000 円分の郵便為替で提出してください（指定受取人欄を記入しないこと）。

● 出願方法

出願は必ず受付期間内に行ってください。提出書類の到着は「出願期間必着」となります。

出願方法には「郵送出願」・「窓口出願」の 2 つの方法があります。

郵送出願 レターパックで郵送するか、または市販封筒の表に「入学願書在中」と朱書きの上「簡易書留速達」で郵送してください。

窓口出願 入試広報部に直接持参してください。

受付時間 出願期間内の平日 9 時 00 分から 17 時 00 分（土・日曜日、祝日は除く）。

受験票・Web面接・合否発表・入学手続きについて

- 受験票について
- 受験上の注意について
- Web面接について
- 合否発表等について
- インターネットによる合否案内の操作手順
- 入学手続きについて
- 入学前教育について
- 成績の開示について
- 在留資格情報等の届出と日本語能力試験について
- 個人情報の取り扱いについて
- 学納金等一覧表

受験票について

受験票は、提出必要書類一式が大学に到着し、内容に不備がないかを確認した後、発送します。締切間近の申込の方以外は面接日2日前までに発送しますが、到着しない場合は、入試広報部までお問い合わせください。

受験上の注意について

- (1) 出願許可後の入試区分や志望学科の変更は受け付けられません。
- (2) 出願書類や面接時の虚偽、監督者の指示や注意事項に従わない場合、面接を無効とすることがあります。また、事後に発覚した場合には、合格や入学手続後であってもこれを取り消すことがあります。注意してください。

Web 面接について

薬学部特色選抜・総合型選抜入学試験では、「Zoom ビデオコミュニケーションズ」が提供する Web 会議サービス「Zoom」を利用したインターネット接続によるオンライン型の面接を実施します。

事前に当日に利用する端末で「Zoom」アプリをインストールしておいてください。アカウントを作成する必要はありません。

「Zoom」アプリの利用方法は、インターネット出願サイト上で公開する「千葉科学大学 Web 面接マニュアル」を必ず確認してください。また、試験当日に正常に接続できるかを確認するため、事前に「接続テスト」を実施します。接続テストの詳細は、申込み者に対して個別にお知らせします。

この他、以下の注意事項を必ず確認してください。

- (1) Web 面接は、自宅や在学する高校など、騒音が少なく集中できる環境で参加してください。また、高校内で参加する場合は、あらかじめ在学する高等学校等の了承を得てください。
- (2) 面接時は**面接者以外が在室しないようにしてください。**
- (3) 面接時に**手元に置ける資料は、「千葉科学大学 Web 面接マニュアル」のみです。**
- (4) マイクやインカメラを内蔵したスマートフォンやタブレット端末、ノートパソコンなどで接続することができます。また、デスクトップパソコンで接続することも可能ですが、外付けマイク・カメラが必要となる場合があります。バーチャル背景は使用できません。
- (5) 面接時に電波状況が不安定となることがないように注意してください。各キャリアの通信容量超過による回線速度制限下での接続はご遠慮ください。
- (6) スマートフォンやタブレット端末、ノートパソコンなどのモバイル端末を利用して接続する場合、面接中にバッテリーの残量不足とならないよう注意してください。
- (7) 「Zoom」アプリには OS のバージョンや端末の処理能力など、最低限必要なスペックが定められています。事前に「Zoom ヘルプセンター」から必要な要件を確認してください。

◆ 注意 ◆

- 面接当日の機材トラブルなどにより **正常に実施できなかった場合、別の日程を設定する場合があります。**
- 接続に利用する端末や通信に必要な費用は志願者負担となります。
- データ通信料が高額になる場合があります。Wi-Fi 環境での使用をおすすめします。
- 面接に関する内容は、すべて録画及び録音を禁止します。
- 他の面接者との公平性を欠く行為、個別面接に相応しくない行為は絶対に行わないでください。
- 接続に利用する端末や、Web 面接に必要な通信環境などを用意できない場合は、申込み前にあらかじめ入試広報部に申し出てください。

合否発表等について

● 合格発表について

合否発表は以下の方法で実施します。

(1) 合格者への通知

合格者には合格通知書及び入学手続き書類を郵送します。なお、発送は合格発表日に行いますが、地域によっては配達されるまで2～3日かかる場合があります。また、インターネットによる合否案内で合格を確認したのち、合格発表後3日たっても合格通知書が届かない場合は入試広報部までお問い合わせください。

(2) 不合格者への通知

本学は、不合格者には通知書を発行しません。インターネットによる合否案内で「不合格」と案内された方には、これを正式な通知とします。

インターネットによる合否案内の操作手順

インターネットにより入試結果を確認することができます。

<p>① パソコン・スマートフォンで閲覧することができます。 https://www.postanet.jp/gouhi/O32525/ にアクセスしてください</p>	QR コード	
<p>② あなたの受験番号(6桁)、誕生日(4桁)を入力してください。</p>	<p>▶ 受験番号、誕生日を半角で入力してください。 例) F12345 例) 11月7日→1107</p>	<p>千葉科学大学</p> <p>あなたの受験番号を入力してください。</p> <p><input type="text" value="F12345"/></p> <p>あなたの誕生日を4桁で入力してください。</p> <p><input type="text" value="1107"/></p> <p>よろしいですか</p> <p><input type="button" value="はい"/></p>
<p>③ 表示された内容を確認してください。</p>	<p>▶ 誤りがなければ、「はい」をクリックしてください。</p>	<p>千葉科学大学</p> <p>総合型選抜Ⅰ期 受験番号 F12345</p> <p>誕生日 1107</p> <p>よろしいですか?</p> <p><input type="button" value="はい"/> <input type="button" value="いいえ"/></p>
<p>④ 合否結果が画面に表示されます。</p>		

◆ 注意 ◆

- (1) 本システムの利用は発表日の午前10時00分から翌々日の午後11時59分までです。
- (2) 合格は合格通知書をもって正式通知とします。
- (3) 利用開始直後の時間帯は混雑することがあります。接続できない場合は少し時間を置いてから利用してください。
- (4) 操作方法に関する問い合わせには応じられません。
- (5) 受験生以外の方からの受験番号等の個人情報に関する問い合わせには応じられません。
- (6) インターネットによる合否案内は、志願者個々の合否の結果をインターネットにより通知するシステムです。合格の発表では補助手段として利用します。誤操作、聞き違い等を理由とした入学手続き期間終了後の手続きは認めませんのでこのページをよく読んでから利用してください。

入学手続きについて

合格者には、合格通知書とともに入学手続きに関する書類等を送付します。受領後は指示に従って入学手続きを行ってください。なお、以下の期限までに入学手続きを完了していない場合は、入学することができませんので注意してください。

入試区分	手続き期限	手続き内容
総合型選抜Ⅴ期（追加）	3月24日（金）	入学金、春学期納付金（春学期授業料＋春学期施設設備費）を一括納入してください。 納付金等の詳細は22ページを参照してください。
総合型選抜（追加）	3月31日（金）	

◆ 注意 ◆

- (1) **いったん納入された入学金は返還しません。**
- (2) 合格通知に同封する「振込依頼書」を用いて、金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の窓口でお振込みください。
- (3) ATM（現金自動預入支払機）からの振り込みやネットバンキングなどの振込依頼書を利用しない振り込みは本人確認が困難となるため、絶対に行わないでください。
- (4) 入学手続きは期限を厳守してください。振込日が締切日当日の場合は、銀行窓口で締切日中の打電となるか必ず確認してください。

入学前教育について

合格者を対象に、入学までの学力及び学習意欲向上のため、入学前教育を行います。

成績の開示について

薬学部特色選抜・総合型選抜入学試験では、成績の開示は行いません。

在留資格情報の届出と日本語能力試験について

外国籍を有し、日本国の永住許可を得ていない方は、出願時に「在留資格情報等届出書」の提出が必要となります（<https://www.cis.ac.jp/examinfo/index.html>よりダウンロード）。この在留資格情報は「留学」の在留資格を有し入学される方を対象とした授業料の一部が減免される「私費外国人留学生特別減免制度」の判定や、入学後の在留資格更新のサポート等に利用されます。

また、外国籍を有し日本国の永住許可を得ていない方で、看護学部を志願される方は、入学後すぐに高度な日本語会話などの能力が必要となりますので、出願時に「日本語能力試験 N1 の合格証明書の写し」の提出が必要となります。

個人情報の取り扱いについて

出願及び入学手続きに際し、お知らせいただいた住所、氏名、電話番号等の個人情報は、入試の実施、合否発表、入学手続き、入学前教育、入学者選抜研究と、これらに付随する入試に関する資料の作成を行うために利用します。また、合格者の入学後の教務関係（学籍・修学指導等）、学生支援関係（健康管理、在留資格の更新、奨学金申請等）にも利用します（修学上の配慮を希望し許可された場合はこれらに含みます）。

なお、高大連携の観点から修学状況及び卒業後の進路等について出身学校等に情報提供することもあります。

これらの個人情報は、本学が責任を持って管理し、目的以外の用途には使用いたしません。

学納金等一覧表

(単位：円)

● 薬学部 入学金 300,000 円、学友会費 25,000 円 [初年度のみ]

学科	納付区分	授業料	実験・実習費*1	施設設備費	合計
薬学科 (6 年制)	春学期納付金	610,000	—	225,000	835,000
	秋学期納付金	610,000	200,000	225,000	1,035,000
	合計	1,220,000	200,000	450,000	1,870,000

※1 薬学部薬学科 (6 年制) は2年次より実験・実習費が年額 260,000 円になります。

● 危機管理学部 入学金 250,000 円、学友会費 25,000 円 [初年度のみ]

学科	納付区分	授業料	実験・実習費	施設設備費	合計
危機管理学科	春学期納付金	393,750	—	105,000	498,750
	秋学期納付金	393,750	52,500	105,000	551,250
	合計	787,500	52,500	210,000	1,050,000
保健医療学科*2	春学期納付金	446,250	—	183,750	630,000
	秋学期納付金	446,250	210,000	183,750	840,000
	合計	892,500	210,000	367,500	1,470,000
航空技術危機管理学科 航空マネジメントコース*3	春学期納付金	393,750	—	105,000	498,750
	秋学期納付金	393,750	52,500	105,000	551,250
	合計	787,500	52,500	210,000	1,050,000
航空技術危機管理学科 航空マネジメントコース以外*3	春学期納付金	446,250	—	183,750	630,000
	秋学期納付金	446,250	210,000	183,750	840,000
	合計	892,500	210,000	367,500	1,470,000
動物危機管理学科	春学期納付金	446,250	—	183,750	630,000
	秋学期納付金	446,250	210,000	183,750	840,000
	合計	892,500	210,000	367,500	1,470,000

※2 臨床検査学コースの細胞検査士養成プログラムは3~4年次に別途30万円程度の費用がかかる予定です。

※3 航空マネジメントコースは留学に必要な費用が別途必要となる場合があります。

● 看護学部 入学金 250,000 円、学友会費 25,000 円 [初年度のみ]

学科	納付区分	授業料	実験・実習費	施設設備費	合計
看護学科	春学期納付金	446,250	—	183,750	630,000
	秋学期納付金	446,250	420,000	183,750	1,050,000
	合計	892,500	420,000	367,500	1,680,000

◆ 注意 ◆

- (1) 入学金及び学友会費は入学年度のみ必要です。
- (2) 学友会費の納入は秋学期となります。
- (3) 実験・実習費は、入学年次の春学期納付金が高額となるため秋学期に1年分を徴収します。2年次以降は春学期、秋学期に分割して納付していただきます。
- (4) 上記以外に大学指定ノートパソコン(20万円程度)の購入を推奨させていただきます。大学指定ノートパソコンの詳細は合格者に別途ご案内します。

2023年度 千葉科学大学 総合型選抜V期(追加)・総合型選抜(追加) 入学願書

2023年度 千葉科学大学
総合型選抜V期(追加)・総合型選抜(追加)
受験票 兼 入学検定料 領収書

受験番号		※記入しないこと	
氏名	フリガナ	性別	写真貼付欄 上半身正面無帽
	氏名	男・女	
生年月日	(西暦) 年 月 日 生	試験地	願書提出日 前
		Web (Zoomによるオンライン面接)	3カ月以内 (縦4cm×横3cm)
試験区分	希望する入試区分のいずれかに○をする		試験日
	総合型選抜V期(追加)		3月7日(火)
	総合型選抜(追加)		3月24日(金)
現住所	〒		
	自宅電話番号		
	携帯電話番号		
	E-mail	判読できるよう丁寧に記入してください	
志望学部	志望学科		
	コース	※パイロットコースは募集しない	
出身高校名	出身学科	科	
	出身コース ※ある場合	コース (例：特別進学コース)	
	卒業年 卒業年 (西暦)	年	卒業 (見込)

- ・上記の太枠内に必須事項を記入してください。(記入の際はボールペン、サインペン等を使用し、消えるボールペンは使用しないでください)
- ・上半身無帽の写真(カラー、白黒いずれも可)を用意し、裏面に氏名を記入し、写真欄に貼付してください。

受験番号	※記入しないこと
志望学部	
志望学科	
氏名	フリガナ

試験日		(入学検定料受領印)
受験地	Web	

◆記入上の注意

・上記の太枠内に必要事項を記入してください。
(記入の際はボールペン、サインペン等を使用)

◆入学検定料支払についての注意事項

・検定料のお支払はゆうちょ銀行で35,000円分[※]の郵便為替を購入し、願書とともに提出してください。

郵便為替には指定受取人を記入しないでください。

- ・現金35,000円[※]を入試広報前までお持込みいただくことも可能です。
- ・締め切り間近の出願の場合は本人確認の上、メール・FAX等でお渡しとなる可能性があります。
- ・持込みの際は生使配など願書裏付きの身分証明書を必ずご持参ください。

入学試験に関するお問い合わせ先

学校法人 加計学園

千葉科学大学 入試広報部

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3番

 0120-919-126

(受験生ホットライン)

[URL]<https://www.cis.ac.jp>

[E-mail]koho@cis.ac.jp

